

アンケートの結果について

1 月 25 日～31 日に行いました第二回保護者アンケートでは、たくさんの方にご回答していただくとともに、貴重なご意見をいただきありがとうございました。子どもたち及び教職員も同様にアンケートを実施しましたので、本校の課題となる点や向上した点についてご報告いたします。

1 保護者アンケート 分析結果

重要度・実現度 最高 7.0

ニーズ度が 25 以上または 25 に近い項目が課題となる点です

質 問 文	重要度	実現度	保護者 ニーズ度	教職員評価 実現度
学校が楽しいこと	6.8	5.3	18.4	4.9
正しい姿勢で学習すること	6.5	4	26	3.9
授業中いっしょうけんめい勉強をすること	6.6	4.7	21.8	4.3
授業の内容を理解すること	6.7	4.5	23.5	4.4
毎日、(15 分×学年)以上家庭学習をすること 例) 2 年生 15 分×2=30 分 3 年生 15 分×3=45 分	6	4	24	3.6
読書をすること	6.3	3.6	27.7	4.2
先生の話や友だちの意見をしっかり聞くこと	6.7	4.6	22.8	4.2
相手の気持ちを考えて行動すること	6.8	4.6	23.1	4
挨拶をすること(家・地域・学校)	6.7	4.5	23.5	3.4
正しい言葉づかいができること[先生や地域の方と話すとき]	6.5	4.4	23.4	4
他の学年の児童といっしょに活動すること(たてわり活動)	6	4.9	18.6	5.1
進んで体を動かしたり、運動したりすること	6.4	4.8	20.5	4.5
早寝・早起きをすること	6.6	4.2	25.1	4
時間を決めて、テレビやゲーム・携帯などをする	6.5	3.3	30.6	2.8
約束やきまりを守り、安全に気をつけて遊ぶこと	6.7	4.8	21.4	4.1
学校の様子が分かること(おたより・ホームページ)	6.2	4.7	20.5	4.4

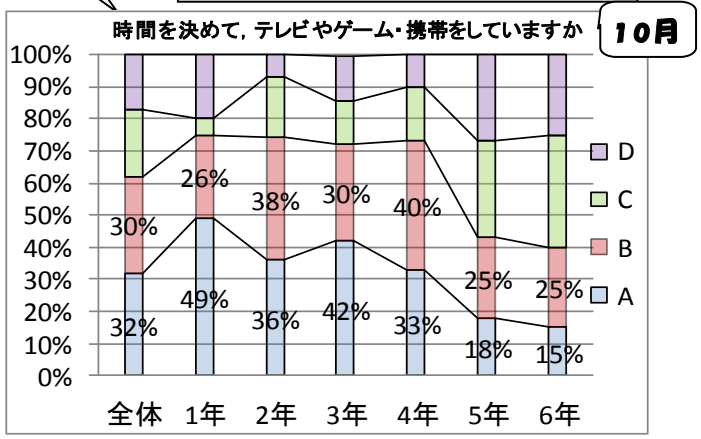
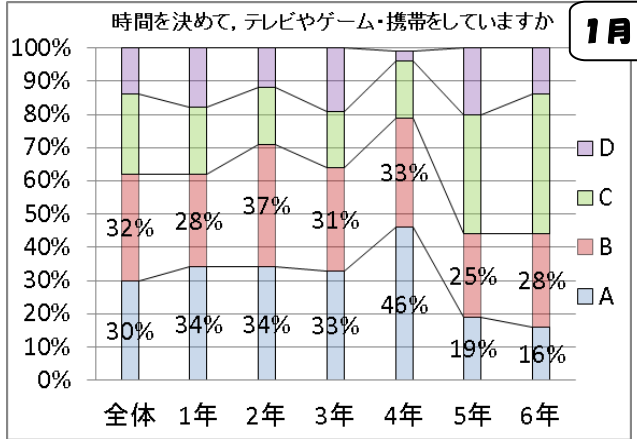
児童アンケートの結果から【1 月】

児童アンケート

実現度が 7.0 に近いほど重要であり  
実現できているといえます

A…よくできている B…だいたいできている  
C…あまりできていない D…できていない

1. 『時間を決めて、テレビやゲーム・携帯をしていますか』



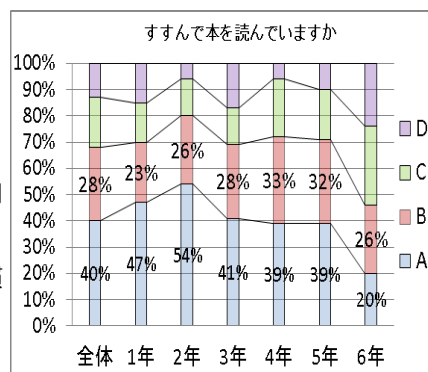
教職員評価	重要度	実現度	ニーズ度
時間を決めて、テレビやゲーム・携帯をすること	6.9	2.8	35.9
すすんで本を読んでいますか	6.7	4.2	25.5

保護者アンケートの結果をみると、前回同様『時間を決めて、テレビやゲーム・携帯をすること』『読書をすること』の項目の実現度が低くなっています。上記左のグラフは、家庭でのテレビやゲーム・携帯について尋ねた 1 月児童アンケートの結果のグラフです。全体の AB 評価が、62%と低い割合になっています。昨年 10 月と比べて、高学年の AB 評価の値がわずかに改善されましたが、低学年の AB 評価が低下しています。全体の値も、AB 評価を見ると 10 月から改善されていないことがわかります。およそ 40%の児童は、特に時間を決めずテレビやゲーム、携帯電話を使用していることになります。

子ども達の、生活改善につながるよう、学校でも引き続き指導していきますので、ご家庭でも「アウトメディア」につながるよう、お声掛けください。

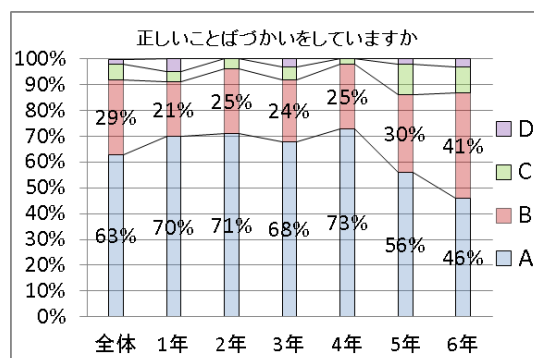
もう1つの『読書をする事』では、10月のアンケートと比べ全体のAB評価も低下し、高学年の読書離れがさらにすすんでいました。

AB評価の値が、20ポイント近くも低下した学年もあります。やはり、内容が難しくなったり、文字数が増たりすることで、「読書ばなれ」が加速してしまうと思われます。今後も学校では、「高学年であるから難しい本を読まなければならない。」という考えから脱却し、『文字に慣れ親しみ、本の世界に浸る。』ことができる読書指導を継続していきたいと考えます。



## 2. 「正しい言葉づかいをしていますか」「友だちと協力していますか」

「正しい言葉づかいをしていますか」「友だちと協力していますか」の項目に関しては、AB評価が90%を超えています。10月のアンケートと比べても、全体で4ポイント増え、学年別でもほとんどの学年でAB評価が上昇していました。実際に子ども達の会話のやり取りを見てみると、先生や地域の方に対しては、丁寧に敬語で話しかけたり、尋ねたりすることができています。しかし、子ども同士の会話のやり取りの中では、相手を傷つけるような表現や強い口調で話している様子も見受けられます。誰に対しても、丁寧な言葉づかいで、相手の気持ちを考えて話せるよう指導していきたいと思います。



「友だちと協力していますか」の項目では、10月と比べ全ての学年のAB評価が90%を超えていまし

た。今後も学習の中に、ペア学習やグループ学習を取り入れ、友だちと協力しながら課題解決していく授業形態を引き続き行っていきます。

早寝・早起きをする事	重要度	実現度	ニーズ
保護者	6.6	4.2	25.1
教職員	6.9	4	27.6

## 3. 「早寝・早起きをする事」

上記右の表は、「早寝・早起きをする事」の保護者アンケートと教職員アンケートを表したものです。10月のアンケートと比べ、全体で5ポイント低下しています。特に、低学年のA評価が約10ポイント低下していました。保護者の重要度・ニーズ度も高いが実現度は保護者・教職員ともに4と、低い値となっています。学力向上・健やかな体も、まずは元気に毎日を過ごすことから始まります。学級指導や保健だよりなどで、規則正しい生活習慣の重要性を伝えていきたいと思います。子ども達の健全育成のため、保護者の皆様と協力していきたいと思います。

### 自由記述欄より(※学校全体に関わる内容を掲載します)

- ・学校での日々の様子がもう少し分かるといいです。
- ・毎日の持ち物が重すぎると感じます。減量に向けて、配慮していただきたいと思います。
- ・来週の予定で突然早帰りになるというお知らせをもらうことが多々ある。急に仕事の休みが変わってられないといけないので、せめて1か月前位には知らせてほしい。
- ・新1年生の入学前の説明ですが、2日間にまとめていただくと助かります。3日間行くのは仕事をしていると大変です。(特に2月に2回・・・) ご検討いただくとありがたいです。
- ・欠席中の授業内容は出席した際に説明してもらっているのでしょうか。学校で統一されているのか気になります。ホームページも楽しみにしています。来年度も、ぜひ同ペースでお願いしたいです。
- ・宿題も大切だと思うが、量が多すぎる。適度な量で、外で遊ぶことも大事だと思う。学校の授業の方が、大切だと思う。
- ・山の家に行ったときに、ホームページからの情報が少なく、親としては心配でした。

感想・ご意見の欄では、他にもよかった点や改善すべき点について貴重なご意見をたくさんいただきました。ありがとうございます。自由記述欄に書かれていたものの中には、すでに実施されているものもありましたので、今後さらに学校・学年から保護者の皆様に発信していきたいと思います。課題として挙がってきたことについては、共通理解を図り、改善に向け取組を進めてまいります。今後とも、ますますのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。